



生命尊重のための宣言文

生命は大切である。私たちは何よりも生命を愛し、尊重しなければならない。人間は生命があるからこそ、幸せをはじめ、様々な価値を追求し、生きていくことができる。

私たちの社会に蔓延している利己主義、物質万能主義、他人に対する配慮の不足、行き過ぎた競争中心の教育などは、人間の生命を軽視する原因となっている。

私たちはこれを克服し、生命尊重のための核心的な価値を実現することによって、私たちの生と社会をより平和で、調和されたものにしていかなければならない。

1. 生命の責任性

生命は私たちにとって最高の賜物である。この尊い賜物を大切にし、尊重する責任はまず私たち自身にある。

2. 生命の平等性

人間の生命は平等である。違いは生命の間の優劣を意味するものではないから、社会経済的、文化的な不平等を解消しなければならない。

3. 生命の安全性

平和な生は、人間の生命が安全である場合にのみ成り立つ。安全な生のために、生命を脅かす要素を排除しなければならない。

4. 生命の関係性

人間の生命は独りでは存在することができない。生命は互いに助け合い、励まし合い、配慮し、分かち合う生の中で更なる成長を遂げ、豊かになるのである。

実践方法

個人、家庭、社会、そして国家は、生命尊重のための核心的価値を実現し、人間の生命の尊厳を高めるため、次のことを実践する。

- 私たちは、自分自身の生命を大切にし、好ましい生活習慣によって健康的な生が維持できるよう努力しなければならない。
- 私たちは、他人の生命を大切にし、その生を尊重しなければならない。特に社会的弱者の生に配慮しなければならない。
- 私たちは、家庭において、互いに模範となる言葉遣いや行動により、生命の尊重を実践しなければならない。
- 私たちは、学校において、人間の生命が価値あるものであり、尊重されなければならないということが経験できるよう、教育し、実践しなければならない。
- 私たちは、職場において、安全で快適な環境が提供されなければならない。これとあわせ、生を通じ、他人と調和しながら成長しなければならない。
- 国家は、国民の健康と生命を保護するため、これを脅かす社会環境的な要素を排除し、安全な生を保証しなければならない。

2016年 5月12日



大統領所属 国家生命倫理審議委員会